

たこ焼きをニコニコしながら作りました

～2014年度 岩手ボランティアバス～

第4回

（7月18日～21日）

45名参加



ボランティアバスが土・日に立ち寄る「けせん朝市」では、おがさん（お母さん）との会話がはずみます（陸前高田市）



この日は、いわて生協の組合員ボランティアなど、総勢73人で雑草抜きをしました（大槌町・ハーブの郷）

第5回
（7月23日～26日）
13名参加



たこ焼き
おいしーよ！



第4回ボランティアバスはバス2台での出発、二手に分かれ活動を行いました。あいにくの雨模様のなかでしたが、大槌町では亡くなった方を追悼するための「菜の花プロジェクト」整地作業や、「ハーブの郷」では畑で雑草抜きなどをしました。第5回は、第4回のメンバーが手入れしたハーブ畑で、バジルの芽とりや追肥やりをして汗を流しました。



岩手から
関西のみなさんへ
メッセージ

けせん朝市の会長（海産物の川端商店・3代目店主：熊谷さん）より

3.11の東日本大震災で陸前高田の街中で営々と続けていた朝市会場も流されました。途方にくれている中、全国の中小企業の仲間からの支援もあって震災後2カ月も経たない5月1日に今の場所で再開。この間、遠く関西から来てくれるコープの皆さんには本当に感謝しています。買物も有難いですが、何よりお店の人に声をかけしてもらって励みになり、仮設住宅にいるより、週2回でも対面販売で話をするのが楽しみになっています。これからも観光でも良いので、ぜひお立ち寄りください。

たこ焼きを、仮設住宅の人々・子どもたち・いわて生協さんたちと仲良くニコニコしながら作りました。（仮設住宅の方の）お孫さんが作ったたこ焼きを食されている場面は印象に残りました。行政面では昨年より盛り土など道路造りと少しずつ変化は見られましたが、語り部の白澤さんいわく、「高齢と共に人口減少が続いている昨今、造り終えて果たして住む人が何人いるのか」と語られ、難しい一面を見た気がしました。

（第5回に参加 枚方市・坂元さん）